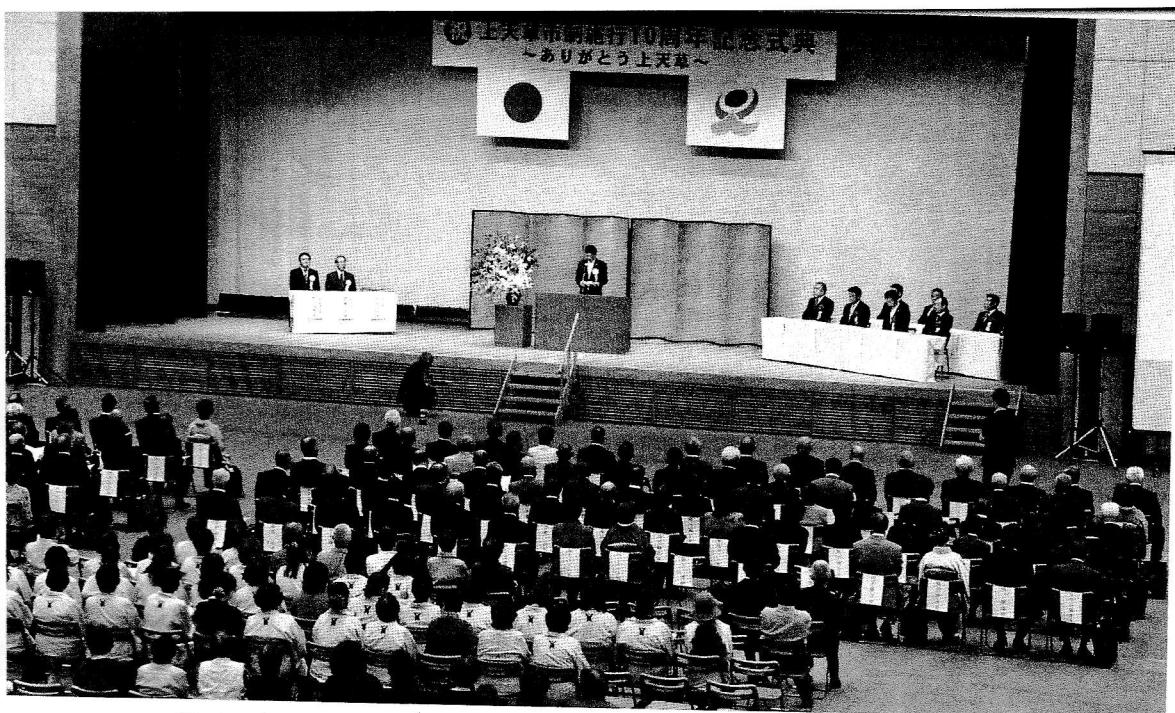


上天草市制施行

10周年記念式典

～ありがとう上天草～



上天草市は、平成16年3月31日の市制施行以来、本年をもって10周年を迎えました。

これまでの上天草市の歴史や文化を踏まえ、かかわった全ての皆さんに感謝するとともに、

上天草市の未来への飛躍を祈念して、10月26日、大矢野総合体育館で、多くの来賓や一般観覧者をお迎えし、記念式典を開催しました。

上天草市は、平成16年3月31日の市制施行以来、本年をもって10周年を迎えました。これまでの上天草市の歴史や文化を踏まえ、かかわった全ての皆さんに感謝するとともに、上天草市の未来への飛躍を祈念して、10月26日、大矢野総合体育館で、多くの来賓や一般観覧者をお迎えし、記念式典を開催しました。

市長式辞

のよう冷たい風が吹き荒れる肌寒い日がありました。

自治体の合併は、まさしくもとより、熊本県ならびに合併に携わる関係各位のご苦労はいかばかりであったかと、

また、ご来賓として、地元選出の園田先生をはじめ国会議員の先生方、村田副知事ほか県議会議員の先生方、そして、県内の市町村長ならびに市議会、町村議会議長の皆さまには、公私ご多用の折、ご臨席を賜り、この式典に華を添えていただきまして、衷心よりお礼を申し上げます。

ご列席の皆さんと共に、市制施行10周年をお祝いでできることは、この上ない喜びであり、また、今日に至るまで、上天草市の発展に対し各方面から多大なるお力添えを賜りました。ここに、あらためて深甚なる感謝を表する次第でございます。

市は、その存続をかけて、待つたなしの行財政改革にまい進せざるを得ず、合併に伴う諸問題の解決を図りながら、聖域なき改革を強力に推し進めてきたところです。

職員数の削減はもとより、時には市民の皆さんにも痛みを伴うような経費の節減および合理化に取り組んできたことによりまして、合併当初18・9%まで上昇した実質公債費比率は、現在13・0%にまで抑え、職員数は456人から現在317人まで30%削減し、財政調整基金は最悪時

の4億円から22億円にまで増加することができました。財政の健全化については適正化

を通じ自治体としての基礎体力を整えることができたものと認識しております。振り返れば、合併とは、文字通り、行政の大リストラであります。

今日までの上天草市の歩みを振り返ってみると、合併当時は、地方分権が進展する中、予期せぬ国の三位一体改革が推進され、地方交付税が大幅に削減されるなど、財政的に極めて厳しい局面に立たされました。

一方、行財政改革による市民の皆さまの動搖を抑えつつ、風土、風習が微妙に異なる四町の融和と調和を見出すことは、一朝一夕でなし得るような、容易なことではありませんでした。

しかし、地域の祭りやイベント、スポーツ大会などを通じ市民がふれあうこと、乾いた大地に水がしみ入るがごとく、徐々に市民の融和は図られました。

合併の最大の懸案であつた、松島新庁舎についても昨年、関係各位のご協力のもと



～ありがとう上天草～

と「観光の振興」を最重点戦略に位置付けました。

木造3階建ての立派な庁舎として完成いたしました。松島新庁舎こそ、旧四町の合併に

より誕生した上天草市にとつて、旧町意識を発展的に越え、市民の融和と調和を目指す、まさに「和」のシンボルであり、今後、市民一丸となつて気品漂う上天草市を形づくる一助となるものと期待してやまない。

さて、現在、国においては、地方の人口減少問題が国家の重要課題であるとの認識から、「地方創生」を主題とする「まち・ひと・しごと創生本部」が設置され、「人口減少・過疎化」という課題に真正面から取り組む体制が構築されました。

本市においても、人口減少社会に対応し、止めどなく進行する過疎化を食い止めるべく昨年、第二次総合計画が実行段階に入りました。

地元経済の活性化が急務であり、雇用の確保、そして所得の安定を達成するとの認識から、本市の豊富な農林水産物と美しい景観を戦略物資として、「6次産業化の推進」



ガーレルサミット、九州オルレ、海風マルシェ、海音コンサートなどはその最たるものです。

特に、九州観光推進機構が事業展開をなされている「九州オルレ」の維和島コースの

一つの光明を見出すものと認めて
いるところです。

本市では、これからも、地域資源を発掘し、磨きあげ、地域の特性を生かした自律的・持続的な社会を創生し、子どもたちが郷土に誇りを持ち、そして将来にわたり心豊かに住み続けることのできる自治体を目指していく所存であります。

そのためには、本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆さんとのさらなるお力添えと、市と市議会、そして何より市民一丸となつた調和ある力強い歩

こう」の運行開始など、本市の観光振興に追い風が吹き、その追い風を契機とどらえ、現在では、オシリーワン、ナンバーワン戦略に基づいたさまざまな施策を展開しているところです。水上セスナ、ガールサミット、九州オルレ、海風マルシェ、海音コンサートなどはその最たるものであります。

認定に当たりましては、維和地区の皆さまの遊歩道整備やウォークラリーの実施などによるものであり、本日ご臨席の大韓民国ヤンピヨン郡守の来市にも繋がっているものと認識しているところです。

今年度からは、新たに天草五橋の中心にある前島地区を舞台に、官民一体となつて綱光拠点としての整備をすすめ

彰式を執り行いますが、上天草市の草創期における市政発展に対し、顕著な功績のあつた皆さまの表彰をさせていただくものであります。

最後に、本日ご臨席をいた
だきました皆さまの益々のご
健勝とご多幸を心からお祈り
申し上げますとともに、今後
とも市政発展に変わらぬお力
添えを賜りますようお願い申
し上げます。

上天草市の草創期10年を振
り返りながら、光明さす莊厳
な暁のもと、未來永劫さらには
から祈念し、私の式辞といった

みが必要不可欠であります。



上天草市制施行10周年記念式典

広報とう上天草～

人と海の
ふれあうまち

Kamiamakusa

2014

11

No.138



「上天草市民の歌披露」

市制施行10周年記念式典

目次

- 日本ジオパークに認定されました P 2
- 子ども・子育て支援新制度がスタートします P 4
- まちのわだい P 6
- 健康ガイド P 8
- 市立病院だより P 10

- 生涯学習・図書館だより P 12
- ウェルカム市長室 P 16
- 市制施行10周年記念式典 P 17
- お知らせ P 24

上天草市民の歌 ~ありがとう上天草~

(1番)

ありがとう　ここで生まれて　育って　ほんとによかった　よかった

藍色の海と空が溶け合い　緑萌える大地

穏やかな潮風に吹かれて　行き交う人に微笑かえす

パールライン　パールライン　五つの橋　心繋ぐ

夢見る　上天草　海のまち

(2番)

ありがとう　ここで泣いて　笑って　ほんとによかった　よかった

大切な仲間と育んだね　ふるさとの絆よ

遙か昔の歴史と文化が　僕たちを支え　強くしたね

パールライン　パールライン　夕陽光る　眩しい波

夢見る　君と未来　繋いでこう

(サビ)

パールライン　パールライン　五つの橋　希望運ぶ

夢見る　上天草　ありがとう